



全国学力・学習状況調査について

第3学年を対象に、令和5年4月18日(火)に実施された全国学力・学習状況調査(国語、数学、英語、生徒質問紙)、及び第1・2学年を対象に、令和5年6月20日(火)に実施された福岡県学力調査の結果をお知らせします。また、この調査結果をもとに本校教育の成果と課題を分析し、今後の改善・充実のための取組も合わせてお知らせいたします。

1 全国学力・学習状況調査 福岡県学力調査とは

【調査の目的】

◇ 全国学力・学習状況調査(第3学年対象)

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立させるものです。

◇ 福岡県学力調査(第1、2学年対象)

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、県内各地域における児童生徒の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、各学校が、児童生徒の学力の状況を把握し、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るものです。

【調査の内容】

	実施学年	調査内容・問題の種類	
全国学力・学習状況調査	第3学年	国語	学習指導要領に示されている知識及び技能、思考力、判断力、表現力等の内容に基づき、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選した出題
		数学	基礎的・基本的な知識及び技能や、その知識及び技能が、問題解決をしていく過程でどのように用いられているかについて明確にした出題
		英語	「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の目標及び内容に基づき、全ての領域からバランスよく出題
		生徒質問紙	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
福岡県学力調査	第1・2学年	国語	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容を問う問題
		数学	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容を問う問題

以上の目的と内容を踏まえ、本校では学力状況調査問題を次のようにとらえています。

調査の結果は、生徒が身につけるべき全ての学力を示すものではなく、また単に、正答率に注視することで終わるのではなく、現状の分析と今後の取組、例えば課題を解消するための授業指導技術の向上の大切な資料として活用します。また、学校だけの成果や課題で完結するのではなく、コミュニティ・スクールの強みを生かし、学校・家庭・地域の三者が協働して子ども達の学力向上に取り組んでいきます。

2 全国学力量習状況調査(第3学年)

2-① 全国学力量習状況調査の結果



- ・国語については、全国平均とほぼ同じですが、領域によっては県平均を大きく超えていました。
- ・数学については、全国平均とほぼ同じですが、領域によっては大きく課題が見られます。
- ・英語については、全国平均とほぼ同じですが、県平均を超えているものがある一方、大きく下回っている領域がありました。

2-② 分析と改善策(継続内容と改善点)

科目	分析	継続内容と改善点
国語	【成果】 ○概ね県・全国平均を上回っているが、中でも、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く問題と歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題の正答率が極めて高かった。 【課題】 ●情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題では、内容のまとまりを二に分け、後半のまとまりに見出しをつけることに課題があった。	☆文章の内容を理解したり、内容をまとめたり、文章を読んで自分の考えを形成したりする力を、さらに伸ばしていくために、文学的な文章や説明文、論説文を読んで考えたことなどを記録したり、伝えあったりする言語活動をより多く行っていきます。また、基礎となる語彙力を高めたり、表や図式化によって整理したりする学習を継続していきます。 ☆活用力を問う問題や条件作文にも取り組んでいきます。
	【成果】 ○データの傾向を的確に捉え、選んだ理由を数学的な表現を用いて説明することができた。 【課題】 ●空間図形では、空間における平面が同一直線状にない3点で決定されることの理解に課題があった。	☆グラフが直線で表されていることから理想化・単純化されているものを確認するなど、数学的に表現された結果を事象に即して解釈する活動を取り入れます。 ☆空間図形に関して、身の回りにある事象から問題を設定し、その理由を考察する活動を設定することで、実感を伴って理解することができるようにしていきます。
英語	【成果】 ○「事実や考えが書かれた英文を読み、その考えを表している英文を選択する問題」や、「ある話題について書かれた英文を読み、書き手の伝えたい内容を選択する問題」について全国平均を上回ることができていた。 【課題】 ●「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして会話を完成させる問題」について課題があった。様々な文法事項を整理して、時制にも注意しながら復習する必要がある。	☆まとまった英文を読み、要点を理解することが求められているため、授業では、読んだ英文の内容についてペアの人に説明したり、いくつかの簡単な質問に答えたりする時間を設定し、英文の概要を捉える力をつけていきます。 ☆既習事項を含む基本的な文法事項の復習が必要であるため、授業では、今学習している内容と既習事項との比較をしたり、適時時制など、既習事項について確認をしたりするなど、基本的な文法事項の定着を目指していきます。
	【成果】 ○「事実や考えが書かれた英文を読み、その考えを表している英文を選択する問題」や、「ある話題について書かれた英文を読み、書き手の伝えたい内容を選択する問題」について全国平均を上回ることができていた。 【課題】 ●「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして会話を完成させる問題」について課題があった。様々な文法事項を整理して、時制にも注意しながら復習する必要がある。	☆まとまった英文を読み、要点を理解することが求められているため、授業では、読んだ英文の内容についてペアの人に説明したり、いくつかの簡単な質問に答えたりする時間を設定し、英文の概要を捉える力をつけていきます。 ☆既習事項を含む基本的な文法事項の復習が必要であるため、授業では、今学習している内容と既習事項との比較をしたり、適時時制など、既習事項について確認をしたりするなど、基本的な文法事項の定着を目指していきます。

2-③ 生徒質問紙(アンケート)について

アンケートの結果の一部を取り出して、お知らせいたします。(☆福津市共通項目)

質問項目	本校 (%)	県 (%)	全国 (%)
①自分には、良いところがあると思いますか。(☆)	84.5	80.4	80.0
②将来の夢や目標を持っていますか。(☆)	68.3	67.1	66.3
③人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	95.3	94.7	94.6
④いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.7	95.8	95.5
⑤友達と協力するのは楽しいと思いますか。	82.5	81.2	81.8
⑥家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(☆)	48.0	52.0	55.0
⑦学校の授業時間以外に、平日、1日1時間以上、勉強をしますか。(☆) (学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)	55.3	61.6	65.3
⑧学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	97.3	93.1	93.3
⑨今住んでいる地域の行事に参加していますか。(☆)	40.5	34.0	38.0
⑩地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。(☆)	60.1	64.6	63.9

- 「いじめは絶対に許さない」「人の役に立つ人間になりたい」など、正義感や思いやりを持った生徒が全国や県と比較しても多く見られます。また、「自分には良いところがある」の項目が全国や県を上回っており、自尊感情の向上が見られます。生徒自身が学校行事や家庭、地域で活躍する機会を今後も継続して仕組んでいきたいと思えます。
- 計画を立てて勉強することや家庭学習の時間に関してポイントが低いです。生徒が家庭学習の大切さを実感していないことが要因として考えられるため、家庭学習の大切さについて、学校通信や研究通信等を通して少しずつ浸透させているところです。合わせて試験期間中のチャレンジウィークの徹底や、予習での先を見通した学習の定着を図ります。
- 地域の行事への参加については、少しずつ行事が増えたことや、コミュニティスクールの強みである地域連携の成果がポイントとして表れていると考えられます。しかし、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えるかのポイントは、全国や県と比べて低いため、現在、津屋崎中校区における課題を地域と共有する場をつくり、生徒が主体的に地域の課題解決に取り組める機会をもつようとしています。

3 福岡県学力学習調査の結果(第1学年・第2学年)

3-① 福岡県学力学習調査の結果



【2学年】

国語については、県平均とほぼ同じですが、全領域で県平均を上回っていました。

数学については、県平均を上回る結果が出ていました。特に正負の計算や一次方程式を解く基本的な問題については、大幅に期待正答率を上回っていました。

【1学年】

国語については、県平均とほぼ同じでしたが、全領域において課題がありました。

数学については、県平均をやや下回り、全領域において課題がありました。

3-② 分析と改善策(継続内容と改善点)

【2学年】

国語	分析	【成果】 ○適切な発言内容を抜き出す問題が若干県平均を下回ったが、その他、すべての問題で県平均を上回っていた。 ○特に読むこと分野で力を伸ばしていた。 【課題】 ●読み手の立場に立って、文章を整えることに課題がある。 ●自分の考えや根拠が明確に伝わるように、話の構成を考えることに課題がある。
	継続内容と改善点	☆漢字や語句の定着に向けて、小テストの実施を継続して行うことで、家庭学習の習慣化とともに、基礎基本のさらなる定着を図ります。 ☆記述の問題や課題作文の演習に取り組む時間を増やし、自分の考えが分かりやすく伝わるように根拠を明らかにして、的確に表現する力を伸ばします。 ☆ワークシートや図表を使い、叙述に基づいて文章の内容を理解する力を伸ばします。
数学	分析	【成果】 ○「一次方程式」では、ある事柄が成り立つ理由を、数学的な表現を用いて説明する記述式の問題ができていた生徒が多かった。 ○「平面図形」では、展開図に着目して、ある事象の特徴を的確に捉えるなどの短答式の問題を解くことができた生徒が多かった。 【課題】 ●「平面図形」では、2つの立体の側面積について、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 ●「データの活用」では、ヒストグラムから必要な情報を読み取り、その結果を事象に即して解釈することに課題がある。
	継続内容と改善点	☆小テストや単元テストを通して式の計算や連立方程式、立体の体積や表面積の計算などの基礎的な知識や技能の定着を図ります。 ☆「データの活用」において、ヒストグラムから必要な情報を適切に読み取る方法について説明を行い、定着させるため自分の考えを言葉にして説明する活動を取り入れます。その際、データの分布の傾向について最大値、最小値、範囲、累積度数などといった指標を用いて説明できるよう班活動を充実させていきます。

【1学年】

国語	分析	【成果】 ○問題形式の中で、記述式の問題については県平均を上回っていた。 【課題】 ●漢字の読みについては県平均に多少届かない正答率であったが、漢字を書くことについては県平均を10ポイント程度下回っていた。
	継続内容と改善点	☆漢字や文法の小テストの実施を継続して行い、基礎基本の定着を図ります。 ☆さまざまなジャンルの文章の演習に取り組み、正しい文章を書く力や文章の構成を組み立てる力など自分の考えを的確に表現する力を伸ばしていきます。 ☆場面や状況に応じて、適切に敬語を使用できるよう、自己の敬語を見直し、ロールプレイなど生徒が意欲的に学習に取り組めるよう効果的に知識の定着を図ります。
数学	分析	【成果】 ○データの傾向を的確に捉え、選んだ理由を数学的な表現を用いて説明することができた。 【課題】 ●図形の性質を利用しながら、筋道を立てて考え、理由を説明する問題は全国平均を下回っていた。
	継続内容と改善点	☆タブレットPCを活用し、平面図形やグラフの特徴を捉えさせ、数学的な表現を用いて問題解決する活動を取り入れます。 ☆どの単元においても、課題を解決するための見通しをもち、その見通しを基に根拠を明らかにして説明する活動を充実させていきます。